



# カビ対策



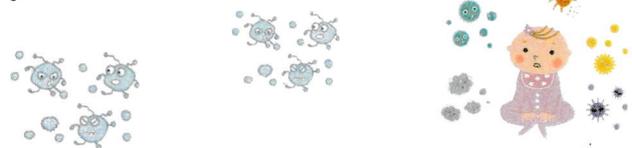
## カビって何者？カビの意外な正体

ひと言で「カビ」と言ってもその正体は、意外と知られていません  
今回はカビについてお話します

### カビの歴史と種類・・・そして正体



- ・カビは5億年以上前には既に存在していた考えられています。人類よりもはるかに長い歴史を持っています。カビという呼び名は俗名で、微生物学的には「真菌類」または「菌類」といいます。
- ・カビの種類は、現在わかっているだけで約100,000種類あります。カビとして最もよく知られているのは糸状菌です。(みかんや餅などに生えるカラフルなカビの多くも糸状菌です)意外かも知れませんがキノコもカビの一種です。また、浴室の壁にできる黒いカビは酵母の一種、パン作りに使うイースト菌も酵母、カビです。他にも味噌、醤油、日本酒、最近人気の塩麴など、日本の食文化を担う食品の多くはカビを利用して作られています。ワインやビール、チーズもカビの助けがないと作れません。また、アオカビから作られるペニシリンは、抗生物質に利用されています。
- ・カビはどんな場所でも温度、湿度、酸素、栄養(有機物)の条件が整えば孢子が発芽して菌糸を伸ばし菌糸体へと成長します。菌糸体は、やがてコロニー(集落)を作り私達の肉眼で見えるようになります。カビは私達にとって有益と有害の両面を持っています。



### カビによるアレルギーや感染症

- カビによる病気は、カビによって引き起こされるアレルギーとカビそのものによる感染症に大きく分けられます。
- \*カビによるアレルギー・・・夏型過敏性肺炎、アレルギー性鼻炎、アトピーなど
  - \*カビによる感染症・・・水虫、真菌性肺炎、カンジタによる食道炎や胃腸炎、クリプトコックス症など

### これからの季節、特に気をつけよう！

夏風邪に似た症状で、夏型過敏性肺炎があります。これは、「トリコスポロン」というカビの孢子を吸い込むことによるアレルギー反応です。古い木造住宅、畳、カーペット、エアコン内部、湿度が高く風通しが悪い場所、湿気がこもりやすい場所などは要注意です。

トリコスポロンは、気温20度以上、湿度60%以上になると活動を始め高温多湿になるほど盛んに繁殖し孢子を飛ばします。室内のカビの孢子を少なくしておくことが大切なので、6月から9月頃はこまめな掃除を心がけましょう。



「梅干にカビが生えると、その家に不幸が起こる」という諺があります。梅干を作る過程で手抜きをするとカビが生えることから、家事全般に手抜きがある家には幸は来ないという意味です。梅干し同様、身近なカビを制してじめっとした季節をカラッと過ごしましょう！

